

バイオビジネス環境学特論演習Ⅱ (2単位)

担当者氏名 大久保 研治

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

企業の経済活動において求められている環境経営が成立するためには、とりわけ市場のグリーン化の動向を把握することが必要となる。そのために、各々の市場動向の分析と環境マーケティングの分析が必要となる。のグリーン化環境対応が不可欠となっている。そこで本演習では、環境経営の成立条件とマネジメント技術について理解し、環境配慮の市場動向およびマーケティングリサーチの手法を習得することを目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

ミクロ経済学 環境経済学 環境評価手法 アンケート調査
計量経済学 統計学

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	オリエンテーション(1)	本演習の目的と予定	予習・復習の具体的な教材および方法については演習の中で指示する。1回目の演習までに本演習に必要なミクロ経済学の基本的な考え方(消費の理論)と統計学(記述統計)については予習しておくこと(テキストを持ってない場合は参考書を参照)。予習・復習それぞれ1.5時間程度。
2	環境経営(2~4)	環境経営の成立要件とマネジメント技術を理解する。	
3	製品・サービス市場(5~6)	環境配慮の製品・サービス市場の動向の分析手法を習得する。	
4	金融・資本市場(7~8)	ESGなど社会的責任投資など金融・資本市場の動向の分析手法を習得する。	
5	労働市場(9~10)	環境に関わる労働者の行動やモチベーションについて分析手法を習得する。	
6	環境マーケティング(11~15)	環境配慮の製品・サービスに対する消費者選好の分析手法を習得する。	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

吉田文和・北畠能房編『環境の評価とマネジメント』岩波書店, 2003年

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

M・グレゴリー・マンキュー『マンキュー経済学I ミクロ編』東洋経済新報社。

山本拓『計量経済学』新世社。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

演習への参加状況: 50%、レポート 50%

◆オフィスアワー

毎週火曜日午後・研究室(18号館7階)

◆その他受講上の注意事項